







# 石鹼密輸犯

リオで捕縛せらる

睨まれてゐた露人

スピード旅行  
矢野公使に

聖市警察では露西亚人アーロン・ゴルベルクを監視してゐる。彼は監視人の向へ向つて旅するので愈々嚴重さに持つてノルマニに現はれた。その場に居合せた監視人は有無を言はずマーラを開けさせ取調べた所中には上等な石鹼がぎり詰め込んであるのを見たので取敢えず監視人に連行し駆逐車を取調べた結果右は石鹼の密輸入を試みた同人は聖市警察から發給されたり往復バスを持て居た。

笠松測量師  
バラグワイへ出發

巴拉グワイ拓植の第一線に起つて急遽現地から呼ばれた笠松測量師は確定を變更して去る九日ルツサンゲイラ解出發、ボルトエスベラサンダル由して赴任する。この因に通信は City Hotel Asuncion, Paraguay にて



マリリア奥地

紀行雑感(三)

現植民地を形成してゐるもの四十餘ヶ島、雄なるものに昭和、農圃、バカリスマ、メスキッタ、モロレンド、共和があり

地主では先年児童たふれた内藤氏の内藤耕地、松原安太郎氏の松原耕地、別府諸氏あり。桶ごころでは大峡谷の中に一大パノラマを展開してゐるガビナン。バルボーザ、岡崎、ETC、聖州奥地で邦人集園地としてばりんス駆に次ぐものじやないかと思ふ。此の一大都市の裏面はマリリア市が何處まで現在の如き发展ぶりを極めて今までの若者時まで其の若さを誇る事が出来なかつた。現在バカリスマ延長線の町は凡ゆる點に於て若く發展の途上にあるが、地方のみは何時までも今の若さを鮮かな特徴する事は難しい。現在の发展も田舎に併行して行かねばならぬが地力も地積も決して無限大ではありませんが、現在ノアレーベン、オランダの二事が

在の如く拓いては作り、作つては拓き奥へと進んで行く擴張的

な經營法は農業者として自然的

の下にこの慾求を充す土地利用の大策を燃て地力の遞減を防がねば

文明は西遷する事は、文明史の奥つた結論である。若しくは東方の光西方を照すも言ふ。聖州の發展も此の文明史の結論と冥合してゐる。ノロエヌチ夫であり、ノロエヌチ妻であり、ノロエヌチ娘であり、ノロエヌチ娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫

の如きの如きである。若しくは東

方の光西方を照すも言ふ。聖州の發展も此の文明史の結論と冥合してゐる。ノロエヌチ夫であり、ノロエヌチ妻であり、ノロエヌチ娘であり、ノロエヌチ娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫

の如きの如きである。若しくは東

方の光西方を照すも言ふ。聖州の發展も此の文明史の結論と冥合してゐる。ノロエヌチ夫であり、ノロエヌチ妻であり、ノロエヌチ娘であり、ノロエヌチ娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫娘夫

の如きの如きである。若しくは東

方の光西方を照すも言ふ。聖州の發展も此の文明史の結論と冥合してゐる。ノロエヌチ夫であり、ノロエヌチ妻であり、ノロエヌチ娘であり、ノロエヌチ娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫であり、ノロエヌチ娘夫娘夫娘夫娘夫

# 表の供子

月三號

主なる内容



柔道の聖  
空氣お月さま  
月三號  
柔道の型

★ブルクロシモオ★

変品所  
庸

別讀

變品  
員

關

省

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外

國

外



